

○ 次期計画策定に向けたアンケート調査実施(案)

	矯正施設 更生保護施設 等	保護司	協力雇用主 等	支援団体	当事者	大学生
調査対象	・京都刑務所（刑務官、福祉専門官、医者） ・京都拘置所（刑務官） ・京都少年鑑別所（調整官、医師） ・京都保護観察所（観察官） ・京都地方検察庁（捜査官、福祉アドバイザー） ・京都府地域生活定着支援センターふいっと（施設長） ・更生保護施設 盟親 ・更生保護施設 西本願寺白光荘 ・更生保護施設 京都保護育成会 ※更生保護施設は施設長・福祉職員 ・府警少年サポートセンター	保護司本人 （※実際にケースを受け持っている保護司からは別途聞き取りも実施） （計 1 0 名程度） ※京都市内保護司数： 5 3 7 名 （令和 6 年 4 月 1 日現在）	雇い主、従業員 ・京都府就労支援事業者機構 ・協力雇用主（上記機構と今後調整） ・NPO法人いっぽねっと （→就労支援を行っているNPO法人） ※協力雇用主数（令和 5 年 1 2 月末現在） 京都市内 1 7 0 社 京都府下 3 3 7 社 実雇用社数 1 3 社（府下）	団体職員 ・東部障害者自立支援協議会触法部会 （東部圏域の事業所） ・京都マック ・京都ダルク ・居住支援法人 ・生きづらさ補助金の採択団体 ・刑事司法関係機関と連携した研修会参加者（計 9 0 名前後）	・生きづらさ補助金事業の居場所参加者、寄り添い支援対象者 ・更生保護施設入所者	再犯防止についての授業に出席した学生 光華女子大学（心理） 佛教大学（福祉）
実施方法	アンケート・聞き取り	アンケート・聞き取り	聞き取り	アンケート・聞き取り	アンケート	アンケート
聴取項目	・活動を始めた（就職した）きっかけはなんですか。 ・再犯防止にあたって自治体に求めることはありますか。 ・御自身の活動の悩みを相談できる人はいますか。 ・現在の活動（仕事）のやりがいは何ですか。 ・どういうサポートがあれば活動しやすいですか。 ・再犯防止に関して気軽に相談できるところはありますか など				・出所後（釈放後）に困ったこと ・再び犯罪に至らないようにするためには何が必要だと思うか ・自身の悩みを相談できる人はいるか。	・効果的な啓発方法 ・再犯防止の推進に向けて何が必要か
	・次期京都市再犯防止推進計画で取り組むべきこと	※国が実施するアンケートの結果を精査して要検討	【実雇用あり】 ・実雇用している中での課題、困りごと 【実雇用なし】 ・実雇用に至らない理由	・支援をする中での課題、困りごと		

<参考>平成30年度の実態調査について

○ 矯正施設への聞き取り調査

「京都わかくさねっと」と連携し、女性が入所する矯正施設(6箇所)への聞き取り調査を行い、犯罪・非行者の特徴、抱える課題、必要とされる支援等の情報を収集した。

○ 保護司を対象としたアンケート調査

本市域における犯罪・非行等の実態を把握するため、保護司を対象としたアンケート調査を実施した。